

はしもと 修一通信

町政・議会報告
— Vol.15 —



寒川町議会議員
ケアマネージャー **はしもと 修一**

みやしたもんじよ 宮下文書と 富士王朝

宮下文書とい
う古代文書があ
る。1986年よ
り「神伝富士古文
大成」と題され、国会
図書館で自由に閲覧す
ることができる。

そこには、かつて富士山
麓に古代文明が実在し繁栄し
たことが記述されている。また、
寒川の命という神名が登場した
り、富士山麓の神宮の里宮(※)
が相模の国で最も格式の高い寒川
神社であることや、「宮下文書」が
一時、寒川神社に保管されたことも
あり、「寒川文書」とも呼ばれている。
神話の舞台として「佐賀見」とい
地名も度々登場する。文書の史実性に
議論はあるものの、これだけ名前が登
場する「佐賀見」「寒川」は富士王朝に
おける中心的地域であったのは確実であ
ろう。「レイライン」上に寒川神社が位
置し、春分・秋分の日には太陽が富士山
頂に沈む。古代人は富士信仰を大切に
して、豊かな自然の恵みを受けながら生
活をされていたのではないか。

※里宮：山上の奥宮に対し、山麓の村里にある
社殿

余間@寒川

町民の皆様こんにちは。平素より格別のご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。4年前、「ぬくもりのある《幸福社会 さむかわ》を実現する7つのビジョン」を公約に掲げ、その実現に取り組んでまいりました。中でも、**川とのふれあい公園の芝生のグラウンド整備**(写真)は、サッカー協会をはじめ、関係団体、官民協力のもとで実現し、交流人口が増え、健康増進とスポーツが推進されています。また、「心に寄り添うまちづくり」を目指し提案した、**バリアフリー基本構想**の作成が決まり準備が進んでいます。不登校・いじめが過去最多となる中、**公教育のあるべき姿**について、公約以外でも**新型コロナワクチン副反応による健康被害の実態**、**増税等による将来負担に繋がる施策の見直し**、**特殊詐欺の対策等**について訴えてまいりました。世代により課題はさまざまですが、今後もこれまでの経験を生かし、さらに精力的に取り組んでまいります。



**小さな政府、
安い税金。
繁栄への道!!**

10月に約3000品目の物価が上がりました。国は今後もさまざまな増税を主張しており、国民負担率のさらなる増加が予想されます。重税は国民生活を圧迫するとともに企業の成長を阻害し、経済を衰退させます。そもそも、税金は国民が必死に働いて稼いだお金であり努力の結晶です。**財源の不足を国民に負担させる前に、バラマキ政策、マイナ保険証に関する利用促進キャンペーン、再エネ賦課金など税金の無駄遣いを先にやめるべきです。また、屋上屋を重ねる新省庁の設立、公務員の平均年収も民間と差があり、スリム化が必要です。税負担を軽くし努力が報われる社会、「小さな政府、安い税金」こそ、自由の根幹に繋がる私有財産を守り、経済を発展させ、国を豊かにします。**

台湾関係法

幸福実現党は9月6日、台湾の立法院(国会)における台湾教授協会主催の記者会見で、「台湾関係法試案」を発表しました。本試案は日本の国内法として日台のあらゆる分野における相互交流に法的根拠を与えるものであり、とくに日台が「自由・民主・信仰」の理念を共有するパートナーであることを確認し、「安全保障の協力体制を強化すること」を明確にしています。



減税署名

「バラマキは増税のもと。消費税減税による景気回復を」を掲げ進めさせていただいた署名活動。神奈川県としては皆様より2548筆をいただき、党本部へ提出しました。間もなく党本部より政府へ提出いたします。皆様のご協力に心より御礼申し上げます。

幸福実現党 活動ご紹介

小さな政府・安い税金 推進議員連盟設立

現在、政府は際限なくバラマキを続け、本年8月時点の財政赤字は1300兆円弱、8年連続で最高最大の借金額を更新し、国民負担率は5割近くにまで迫っています。本連盟は、幸福実現党・大川隆法党総裁が掲げる「小さな政府・安い税金」の実現を目指し、国および地方自治体に対し無駄な仕事の減量、減税、規制の撤廃を働きかけてまいります。

地方議員55名

2024年12月時点で55名の議員が活動中。



健康寿命の延伸
介護予防
地域包括ケアシステム
の整備

道徳・善悪が大切
いじめ・不登校・
障がい者支援など

ストップ増税!
将来負担
税金の無駄な使い方を
見直します

ぬくもりのある《幸福社会 さむかわ》の実現を目指して!

これまでに**約400件**の
町民皆様からのご要望・ご意見に
対応させていただきました。



住民の方より剪定のご要望があり、担当窓口に相談し対応していただきました(宮山地区/自主管理公園)。

私はこれまで現場主義を通して、町民皆様の心に寄り添う政治を心がけ実践してまいりました。実際に役場の職員をはじめさまざまな関係者のご協力のもと、約400件の対応をしてまいりました。本来政治は町民の立場に立って考え、町民の暮らしを精神的・物質的にも豊かにし、町を発展させることだと考えています。引き続き、「ぬくもりのある幸福社会の実現」に向けて、町民皆様の声をお聞きしてまいります。



寒川駅北口ロータリーに長時間の駐車が目立つと町民よりご指摘があり、担当課に看板を変更してもらいました。

はしもと修一 (プロフィール)

寒川町議会議員(会派に所属しない議員) / 幸福実現党神奈川県本部役員兼寒川地区代表 / 文教福祉常任委員会副委員長 / 建設経済常任委員会委員 / 東海道新幹線新駅対策特別委員会委員 / 青少年問題協議会委員 / 寒川日台友好議員連盟事務局長 / 青少年指導員 / 視覚障がい者へのボランティア活動 / さむかわエコネット会員 / 不登校児支援スクール「ネバー・マインド」相談員 / 「(一財)いじめから子供を守ろうネットワーク」相談員 / 「(一社)ユー・アー・エンゼル(障がい児支援活動)」相談員 / 介護福祉士 / ケアマネージャー / 養護老人ホーム湘風園勤務 / 元進学塾室長

公式サイト
Facebook
X(旧Twitter)
Instagram



ご連絡・お問い合わせ TEL:080-7059-2541 E-mail:love.samukawa@gmail.com

一般質問① 不登校について

令和4年度の小・中学校における不登校児童生徒数は過去最多の29万9,048人(注1)。理由の1つに挙げられるいじめも、小・中・高校で過去最多の68万1,948件が認知されました(注2)。寒川町においても表のとおり増加傾向にあります。

●寒川町の小・中学校の不登校児童生徒の人数と割合

	令和3年	令和4年	令和5年
小学校	46名(1.77%)	61名(2.36%)	68名(2.73%)
中学校	71名(5.63%)	98名(7.69%)	157名(12.05%)

一般質問での町の回答より作成

不登校の理由は個々に異なりますが、主に小学校では無気力や生活リズムの不調。中学校では生活リズムの不調のほか無気力や不安、抑鬱、学業不振など。町の取り組みとしては、未然防止・早期対応の観点から、スクールカウンセラー、心理士など各種相談員の配置。教職員が子どもと向き合う時間をつくるために、スクールサポートスタッフをはじめ、補助員、支援員を配置する。また、家庭との連携協力、多様化するニーズや相談に対応

一般質問② 認知症基本法について

令和6年1月1日、共生社会の実現を推進する認知症基本法が施行。目的は、認知症の人が尊厳を保持し希望を持って暮らせる施策の推進。国民が個性と能力を十分発揮し、相互に人格と個性を尊重し支え合いながら共生する、活力ある社会の実現を推進することとしています。

内閣府は2040年に認知症と軽度認知障害(MCI)を合わせた高齢者数は約1,200万人、高齢者の約3.3人に1人との予測を発表。こうした状況の中、認知症施策推進基本計画の作成は町の責務ではないかとの問いに対し、町からは、県の計画の策定状況を踏まえ、町の介護保険事業計画との整合性を図りながら、推進計画の策定を検討するとの回答をいただきました。

寒川町には認知症バリアフリーへの取り組みの1つとして神奈川県内で1位(※4)の割合である、認知症サポーターの養成があります。チームオレンジとして、認知



※注1：令和5年度が約34万6,482人。前年度から4万7,434人増加し、過去最多と公表。※注2：令和5年度が73万2,568件。前年度から50,620件(7.4%)増加し、過去最多と公表。※注3：令和6年7月時点。3政令3市を除く。令和6年8月30日神奈川新聞記事より。※4：令和6年6月30日現在19.3%。

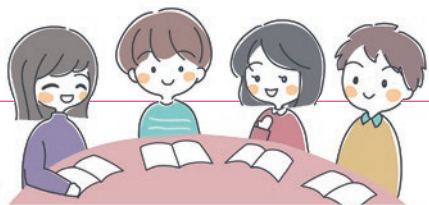
一般質問の詳細はぜひ動画をご視聴ください。

https://samukawa-town.stream.jfit.co.jp/?tpl=play_vod&inquiry_id=1154

寒川町議会

検索

寒川町議会ホームページ → インターネット中継 → 議員一覧から選ぶ → 橋本修一



していくとのことでした。また、不登校についての相談や通室する相談指導教室がありますが、不登校が増加傾向の中、現在の人員配置では十分ではない状況であり、今後は専任教員の増員や心理士の常駐などを考えていくとのことでした。

文科省は空き教室を利用した校内フリースクールの設置を進めており、来年度予算にも人的支援と整備費用が盛り込まれており、神奈川県では72.7%に設置済み(※3)。民間のフリースクールに通う保護者の経済的負担も大きいため、町に設置を提案しました。町としては、大変意義深いものと考えている。町内に同様の取り組みをしている学校もあり、県事業を活用し、支援員を2名配置している。児童生徒が安心して教育を受けられるような魅力ある学校づくりを推進するために、今後も研究を重ねていくとの回答をいただきました。



会議にて一般質問に立つ橋本。

症カフェ等の運営やアルツハイマーイベントの活動を実施。課題は、地域毎の開催場所の確保があり、生活支援コーディネーターを中心に取り組んでいるとのこと。課題の2つ目として、認知症の人の意思決定への適切な支援があり、町は住民へのACP(人生会議)周知と同時に、医療介護職に研修会を開催する予定です。課題の3つ目は介護職員の人材不足です。ハローワーク藤沢の協力を得て、町内事業所の求人情報を作成し、イベントや窓口で配架する取り組みを実施したとのこと。

最後に、災害時に1人で避難ができない要支援者の方には個別支援プランが作成されています。課題として、生活実態や災害リスクなどを分析して優先順位を設けること。先進市の取組状況を参考にしながら、名簿やプランの活用状況調査の結果を踏まえ、避難支援等関係者である自治会や民生委員で構成する調整会議において検討を進めていくとのことでした。私も自主防災部員として取り組んでおりますが、自治会により活動量に差があることや、平時からの訓練が重要と認識しており、町の取り組みを確認しながら自らも取り組んでまいります。

行政視察委員会活動

越前たけふ駅周辺整備推進事業について

令和6年4月に北陸新幹線が延伸し、福井県越前市に越前たけふ駅が開業。インターチェンジや国道などが集積する「交通結節点」でもあり、道の駅、企業やホテル誘致、農業振興地域の関わり方、公共交通との連携など、倉見新駅まちづくり等に向けてご教示をいただきました。



健全な財政に関する条例など～滑川市

富山県滑川市は財政健全性の維持、向上、確保のための目標値を条例として制定し、実質公債費比率、将来負担比率など財政健全化の成果が出ていることや、議会への報告と市民への公表が徹底しているなど、寒川町の財政への考え方や施策の取り組みに直結する内容でありました。



文教福祉常任委員会と寒川町福祉団体協議会との意見交換会

聴覚障がい者協会、寒川町手をつなぐ育成会、視覚障がい者福祉協会、自閉症児・者親の会、寒川町社会福祉協議会の皆様から大変貴重なご意見、ご要望をいただきました。町全体の福祉向上に向けて継続した活動を進めてまいります。

新たな「学び」や「価値」を創造する場所～JR敦賀駅前

自治体が運営する書店「ちえなみき」を視察。一般書店や図書館にもないような専門書や絶版本、古書、洋書等がさりげなく置かれている。購入しなくても、あちこちに置かれた椅子やベンチ、店内のカフェ等で読むことができる。寒川町には書店がないため大変魅力的な施策でした。

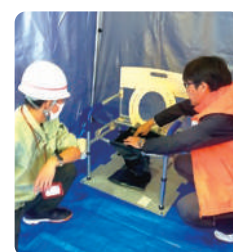


寒川町議会「ユーストークcafé」in 寒川アリーナ

寒川町議会は主権者教育の推進を明文化した議会基本条例を全国で初めて制定。「ユーストークcafé」と銘打った意見交換会を実施。議員と若者が交流しました。



町村議会議員研修会で病院の経営再生について学びました。



南小学校避難所開設訓練でマンホールトイレ設置の説明を受けました。



自治会防災訓練に参加しました。3回目となる劇場型訓練は、地域に浸透してきています。応急手当の講習を受けました。



寒川町の小学生や保護者による、さつまいも掘りのお手伝いをさせていただきました。



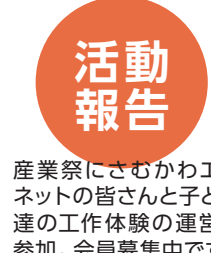
寒川駅北口にて朝の街頭活動。



世界アルツハイマー月間特別企画「第10回さむかわ音楽ひろば」が開催。児童たちとウクレレや打楽器などを演奏し、会場の皆様と一緒に歌うなどの啓発活動に参加しました。



一之宮小で開催したサマーフェスティバルにスタッフとして参加しました。今年も地域の皆さんがたくさん参加されました！



産業祭にさむかわエコネットの皆さんと子ども達の工作体験の運営に参加。会員募集中です！



さむかわ福祉フェスティバルにジュニアリーダーの皆さんと参加。輪投げのお手伝いをさせていただきました。



113年台湾雙十國慶節祝賀式典に出席しました。



第10回台日交流サミット in 台南で黄偉哲市長、邱麗麗台南市議会議員にご挨拶。台南宣言が執り行われました。



青パトを使用しての愛護パトロールに参加しました。



神奈川県では青少年を取り巻く環境の実態調査を行っており、カラオケパンさんへお邪魔しました。

活動報告

